

道立高等学校長庁内公募 (中間 ・ 期末) 報告

学校(所属)名	職名	氏名	年齢	公募校長としての着任年月日
北海道浦河高等学校	校長	齊藤雄大	57	令和4年4月1日

1 これまで取り組んできた改革

地域の学校に通いながら進学・就職の希望を確実に実現
「Well-being」 ～生徒の「Well-being」×学校(教職員)の「Well-being」～

- (1) 浦河町及び様似町の小中学校(5小・4中)との連携強化による地域でつなぐ人づくり
 - ・地元の中学生の本校への進学率85%以上
- (2) 地域の教育資源の活用と体験活動の推進
 - ・生徒の満足度90%以上
- (3) 個別最適化による進路実現
 - ・国公立大学合格者20人以上
 - ・就職決定率100%
- (4) 働き方改革を意識した業務体制
 - ・年間をとおし、時間外在校平均時間45時間を超える教員を40%以下

	R 5	R 4
地元中学生の本校への進学率(85%以上)	68%	76%
生徒の満足度(90%以上)	91%	90%
国公立大合格者(20人以上)	8人	13人
就職決定率(100%)	100%	100%
時間外在校等時間 (年平均45時間以上の教員を40%以下)	44%	46%

2 進捗状況及び成果

- (1) 浦河町及び様似町の小中学校(5小・4中)との連携強化による地域でつなぐ人づくり
 - ア 中学生だけではなく、保護者に対する学校説明会の実施
 - ・浦河町、様似町、新ひだか町三石の5校の中学校で実施
 - イ 生徒が主体となった学校パンフレットの作成
 - ・オープンスクール参加者(中学生145名・保護者22名)や町の施設等に配付
 - ウ 地域防災マスター(3年次1名、2年次4名)による小学校の一日防災学校の講師【資料1】
 - ・段ボールベッドの作成方法、避難所における心得等の説明
 - エ 浦河町及び様似町の小中学校における学習会(学習支援)の講師
 - ・3校の中学校及び3校の小学校における夏季及び冬季休業中の学習会(学習支援)の講師
- (2) 地域の教育資源の活用と体験活動の推進【資料2】
 - ア 地域と連携した事業及びボランティア活動の参加
 - イ 地域の方々との協働による地域の課題解決に向けた探究活動の実施(総合的な探究の時間)
- (3) 個別最適化による進路実現
 - ア 単元配列表の活用【資料3】
 - イ コアルーブリックによる学びの進捗状況の把握及びその状況の教員の共有【資料4】
 - ウ Classi(教育プラットフォーム)を有効活用した学習の記録
 - エ 難関大学合格へ向けた現役大学生との交流及び学習指導
 - ・東京大学生による効率的な学習方法や難関大学攻略への助言

(4) 働き方改革を意識した業務体制【資料5】

- ア 各分掌等の業務内容の見直し等の継続
- イ 個人による月一度の定時退勤日の設定（朝の連絡票に掲載し、全教職員で共有）
 - ・業務スケジュールを明確にするなど、効率化に向けた意識の高揚
- ウ 人事評価シートの学校設定項目として、働き方改革を意識した個人の数値目標の設定
 - ・年次休暇を年間〇〇日以上取得、年間の超過勤務平均時間を昨年度より〇〇%減少など
- エ 昨年の7月から実施している職員会議のペーパーレス化の継続
 - ・印刷業務の廃止による時間縮減
- オ 若年層教員に対する指導助言
 - ・初任者層の超過勤務時間を昨年度より10%以上縮減という目標を達成することはできなかった。業務スケジュールの明確化や精選に向けた具体的な方策の指導助言が必要である。

3 課題及び解決に向けた方策

(1) 課題

- ア ICTを活用した授業改善と個別指導
- イ 業務の多忙と偏り
- ウ 教員の偏在化と経験不足

(2) 方策

- ア 外部ICT教材の有効活用及び複数回の校内研修の実施
- イ コアチームによる働き方改革の評価と改善
- ウ 管理職による複数回の面談における業務状況の把握及び指導助言
- エ 課題の共有と解決に向けた協働体制の確立及び日々の教員同士の積極的なコミュニケーション

4 成果と課題を踏まえた今後の取組予定

(1) 地域とのつながりを重視した取組の継続・発展

- ア 生徒会が中心となった情報発信の増強と小中学校との交流
- イ 地域における体験活動及びボランティア活動の継続・発展
- ウ 地域人材（自治体・観光協会等）の有効活用の継続・発展

(2) 個別最適化による進路実現

- ア ICTを有効活用するための研修会の実施
- イ 各教科における探究学習の確立に向けた研修会の実施
- ウ コアルーブリックによる学びの進捗状況の把握と共有
- エ 上級学校への訪問及び大学生との積極的な交流の継続

(3) 働き方改革の推進

- ア 各分掌の業務内容及び行事等の見直し（コアチームの有効活用）
- イ ピーク作業の平準化（行事担当者の業務量の見直し等）
- ウ 業務の目的の再確認（業務の廃止等）
- エ 時間外在校等時間の縮減週間の設定（各定期考査開始日の1週間前から考査終了日の1日前まで及び長期休業期間）

【令和6年度のスローガン】 「Well-being」～和&輪～

【経営方針の重点】

- 1 情熱 教員は最大の経営資産、生徒にとっては最重要な教育環境（教育は人なり）
- 2 一枚岩 手を差し伸べる組織（目配り・気配り・心配り）
- 3 危機管理 報連相及び確認の徹底（保護者へも同様）
- 4 服務規律 脱ハラスメント（人権尊重）、飲酒運転撲滅
- 5 働き方改革 先を見据えた業務計画（業務スケジュールの明確化）

地域防災マスターによる浦河小学校1日防災学校の講話

1

浦河町立浦河小学校の皆さん

小学生が避難所で出来ること



北海道浦河高等学校

2

段ボールベッドを組み立てよう！



2

北海道浦河高等学校

3

何で、段ボールベッド？



3

北海道浦河高等学校

4

何で、段ボールベッド？



4

北海道浦河高等学校

5

段ボールベッドの良いところ

- ①空気の層で出来ているので暖かい
- ②余震の揺れや歩行者の振動を伝えにくい
- ③いびきや咳などの騒音も和らげてくれる



5

北海道浦河高等学校

6

段ボールベッドを組み立てよう！

7

北海道浦河高等学校

7

避難所とは

災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を**一時的に滞在**させるための施設のこと



8

北海道浦河高等学校

8

避難所には

災害により、家が壊れたり、家族とはぐれた人や高齢者、乳幼児など配慮が必要な人が避難してきます。

災害発生当初は、支援物資などが十分ではなく、不自由な生活が余儀なくされます。



9

北海道浦河高等学校

9

避難所の様子



10

北海道浦河高等学校

10

避難場所などのマーク



避難場所…学校のグラウンドや公園、広場など屋外を含めた場所を指定

避難所…一時的に滞在する難所として地域の会館、小学校や町の体育館などを指定

津波避難所…津波浸水地域外の高台の広場などを指定

津波避難ビル…近くに高台がない場合など、やむを得ず一時避難する建物などを指定

11

北海道浦河高等学校

11

小学生の避難所での役割

食事の分配や避難所内の清掃



12

北海道浦河高等学校

12

小学生の避難所での役割

少なくとも自分のワガママで

周囲に迷惑をかけないこと

それだけは、みんなで守りましょう！

13

北海道浦河高等学校

令和5年度 主な地域連携事業・校外活動・ボランティア活動

	活動名(組織)	活動内容等
地域 (浦河町・様似町・日高振興局)	1 浦高生ふるさと応援隊	「浦河の魅力を発信する」というコンセプトのもと、地域の活性化に取り組む活動
	2 地域の魅力発信プロジェクト	特産品の販売をとおり、浦河町と道外地域との交流を図るプロジェクト
	3 浦河小学校夏休み学習サポート	夏季休業中において、児童に対する学習サポート
	4 浦河第二中学校夏季休業中の学習会	夏季休業中において、生徒に対する学習サポート
	5 浦河小学校1日防災学校	地域防災マスターが講師として参加
	6 浦河小学校運動会	用具係員として4名が参加
	7 浦河小学校第3・4学習区防犯教室	防犯をテーマに地域の安全向上に向けた講話
	8 アドベンチャーinうらら湖	浦河町の小学生と保護者対象にダム見学・釣り大会・川遊び等の体験活動のサポート
	9 浦河七夕まつり	①七夕まつりボランティア ②カフェ出店
	10 選挙啓発ボランティア	3年次による浦河町の街頭での選挙啓発グッズの配布
	11 オレンジカフェ	浦河町のまちなか元気ステーションで実施されるオレンジカフェのスタッフ、レクリエーションスタッフ、町民とのふれあい活動
	12 夢の国幼稚園シニアリーダー事業	保育園児「預かり保育の幼稚園児」「学童保育」の子どもたちと園の生活を体験
	13 浦河港まつり出演及び行事スタッフのボランティア	①吹奏楽局によるオープニング及び演奏会 ②行事スタッフ
	14 浦河神社秋季例大祭ボランティア	渡御係及び浦河を学ぶすぐろく出店係
	15 様似町夏休みチャレンジ学習	夏季休業中において、様似町の小4から中3までの児童生徒に対する学習サポート
	16 様似町学校運営協議会委員	様似町出身者の2年次2名の生徒が委員として協議会に参加
	17 新ひだか町三石中学校学習ボランティア	夏季休業中において、三石中学校1～3年生及び三石小学校5～6年生の児童生徒に対する学習サポート
	18 地域医療を支える人づくりプロジェクト事業	地域医療に携わる方による講演と医療機関見学、病院職員との座談会
	19 東大生と交流事業 (様似町地域おこし協力隊事業)	東大生より効率的な学習方法や難関大学攻略についての学習指導と交流
	20 地域防災マスター研修 (日高振興局)	地域防災力の向上を目的とした地域防災マスター養成
	21 福岡県立小倉南高等学校との交流事業 (浦河町より依頼)	福岡県立小倉南高等学校生徒(12名予定)との交流を通じ、地域づくりや学習に関する多様な視点を獲得する事業
全道	1 S-TEAM事業「『社会との共創』推進プロジェクト」	①地域課題解決型(2年次) ②アントレプレナー教育型(2年次) ③グローバル型(1年次)
	2 「北海道高校生防災カフェ」	高校生が防災・減災について主体的に考え、地震、津波などの自然災害に対するコロナ禍での防災・減災に関する取組などについての交流
全国	1 広域地域連携活動 (高知県佐川高校と斜里高校と連携)	①小規模総合学科魅力化推進事業の一環 ②他校の生徒との意見交換を通じ、地域振興の方策等についての協議 ③高校生と地域の方と共に地域振興を担っていく協働意識の醸成
	2 全国高校生まちづくりサミット2023 in久慈 (岩手県で開催)	全国の高校生と防災・減災についての学びや、成人年齢が18歳に引き下げられたことに対する意見交流

【地域の課題解決に向けた探究活動①】

課題研究12班

地域課題を考える ツール開発

テーマ設定理由

地域課題は誰のものだろうか？
⇒過疎化、空き家問題、少子化、定住外国人の増加など
⇒高校生だけでなく地元に住む人々みんなの問題
誰が考えるべきか？
⇒浦河だけでなく全道、全国**共通の課題**ではないか

仮説

- ・世代や性別も異なる人々が同じテーマについて話し合うことで**新しい視点で地域課題解決のヒント**を見つけられる。
- ・ゲームにするの**楽しく地域について考えるきっかけ**をつくることのできる

調査方法

- 01 浦河町（全国共通）の課題について調査する
⇒**課題意識の差**に気を付ける
- 02 先行している地域課題解決ツールについて調査する
- 03 開発ツールのバリエーションについて検討する
⇒カードゲームが**ポードゲーム**

スゴロク メリット

汎用性	可変性	携帯性	ゲーム性
子供から大人まで楽しめる	地域・世代ごとに変更が容易	持ち運びしやすい	モチベーションを維持

『地域の未来は終わらないスゴロク』

Future of Community Ending Ugoroku S
通称**FOCUS**



産案
外国人の技術研修生が増えています。日本語は、ほとんどわかりませんが、日本の文化やルールを理解できないようすが、どうすれば彼らも快適に暮らすことができるでしょうか。

今後の計画

- 全国展開（商品化）を目指す
→具体的なアクションを開始
→デザインやヒントカードをさらに充実させる
- FOCUSを使用したワークショップなど開催
小・中学校の総合の時間などの探究学習の時間**使用**してもらう

今後の計画

- 全国での普及を優先する
→インターネットでの**無料配布**
- デザインの**見直し**
→地元デザイナーと連携
親しみやすいデザインへ



【地域の課題解決に向けた探究活動②】

ビジネスでつなぐ まち 故郷の未来

課題研究 11 班



インタビュー調査

浦河商工会議所

中小企業診断士
日高信用金庫融資部の方々



浦河町の現状

- 人口減少による飲食店の減少で町が過疎化→承継問題
- 起業に関する支援不足
起業マインド不足



仮説

- 浦河町で起業する魅力を発信する
- 地域の若者の起業マインドを高める
- 体験移住+体験起業の仕組みを浦河に

これらを実現することで..

Cafe アッシュさんのご協力のもと...

体験起業

目的：起業の魅力を実感・発信する

内容：1日限定カフェを起業

商品開発・調理・販売までを自分たちで



体験起業を終えて

- お客様からの声
→ビジネスに大きなやりがいがある！
ストバリープロモーション様、Cafe アッシュ様、来店されたお客様
- 町の人とのつながりが生まれた
→浦河町で起業する魅力の1つ！

起業へのマインドを向上させていく必要がある

結論

▶事業を通じて地域につながりを生むことは活性化に取り組む土台となる

ビジネスの活性化 = 浦河町の活性化

今後

- 起業家講話による起業の魅力発信
→キャリアセミナーでの実施
- 体験起業ができる
高校生カフェの実現



今後

- 体験移住+体験起業のプログラムを浦河町に提案



ビジネスには・・・

人と繋がり、地域を繋ぎ、この町の未来と今を繋ぐ力がある！

地域の若者の力が必要不可欠！！

単元配列表 【探究学習】

第1年次

問：問いを立てることを重視
 資：資料作成を重視
 調：調査することを重視
 発：発表重視
 ※記述がない場合は、全観点を重視

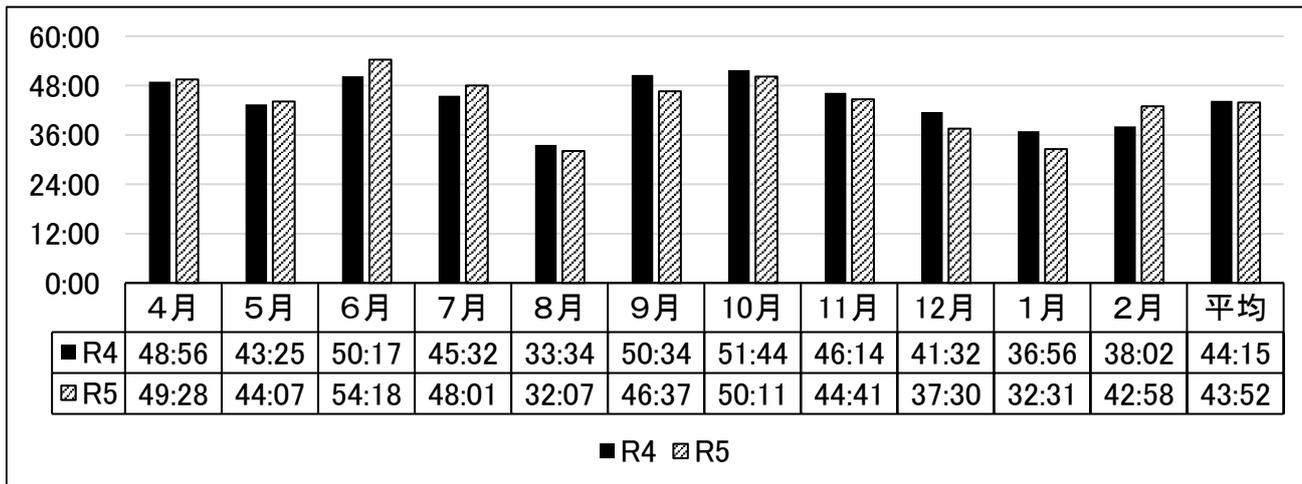
No.	科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	現代の国語	分かりやすい説明をすすめる(発)	資本主義社会の成立(問)	集合と命題(問)	課題を見つける(問)	資料から情報を読み取る(調)	資料をまとめる(資)	資料から情報を読み取る(調)	資料をまとめる(資)	資料をまとめる(資)	資料をまとめる(資)	資料をまとめる(資)	探究した内容を発表する
2	言語文化											短歌を作る(問・発)	
3	歴史総合					日清戦争・日露戦争(問)							
4	数学I					2次関数(調・発)							
5	数学A				確率(問・調)								
6	化学基礎		蒸留、同素体などの実験										
7	体育		体力測定データのExcel集計【情報】					男女共修選択(器械運動)					
8	保健						健康の保持増進と疾病の予防【調】						
9	産業社会と人間	自己理解(宿泊研修)	ジョブリサーチ(職業観、探究初学)	論理的思考講座	思考ツール論理思考	科目選択	探究学習	学習成果発表会					
10	音楽I	VTS(問・発)	合唱		リコーダーアンサンブル	ギターアンサンブル	ギターアンサンブル	作品鑑賞					
11	美術I	素描	アクリル画の制作		フェナキスコープ			抽象彫刻					
12	書道I												
13	英語コミュニケーション				プレゼン(発)								
14	家庭基礎	自己理解(エゴグラム)											
15	情報I		体力測定データのExcel集計【体育】		Wordの使い方【商業】								
16	LHR	生徒意識調査 宿泊研修	学校祭に向けてのグループワーク	体育大会に向けて					インターネットを利用した情報検索の方法				プログラミング

令和5年度 北海道浦河高等学校 コアルーブリック(浦高ルーブリック)

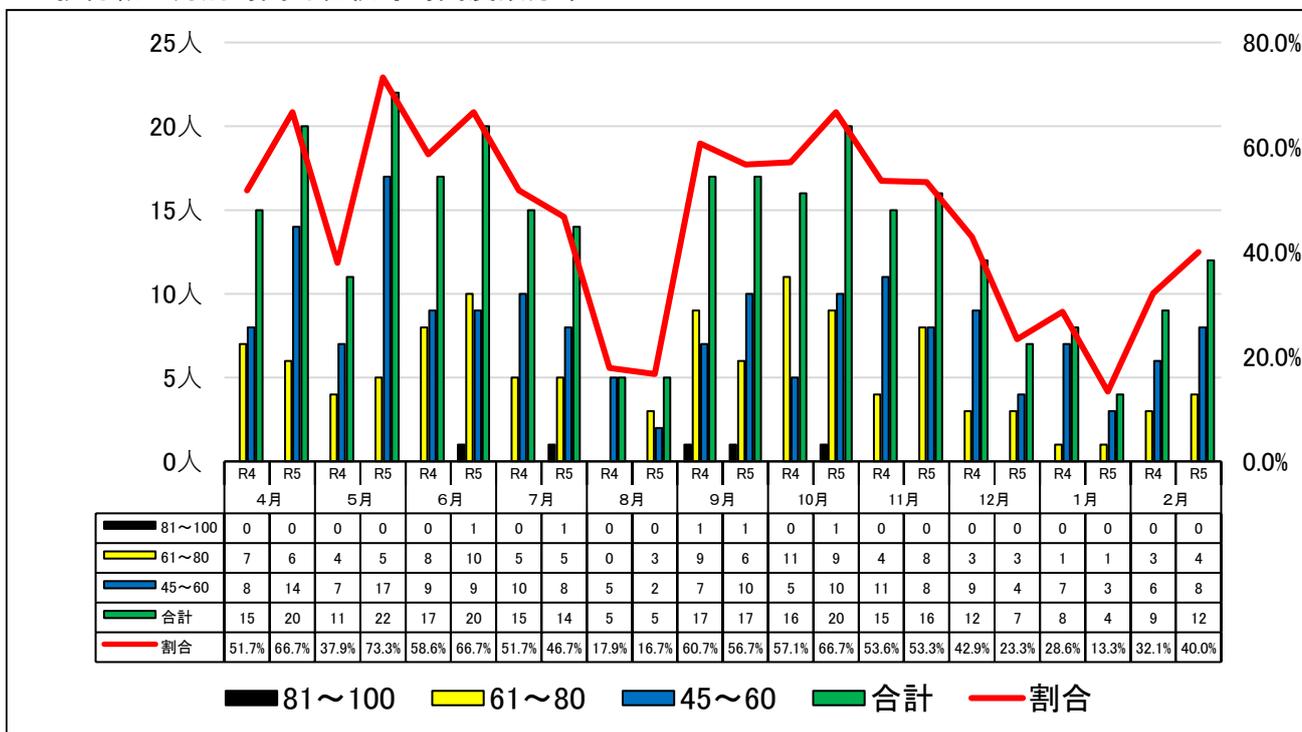
校訓	評価する能力	ルーブリック(評価指標)				育成を目指す資質能力3つの柱
		4	3	2	1	
自主	知識・技能	知識・技能を統合・比較し、新しい知識・技能を築ける。	知識・技能を統合・比較ができる。	知識・技能を身につけている。	知識・技能を身につけようとしている。	「知識及び技能」
	思考力・判断力・表現力(発信力)	自分の考えをまとめ、他の考えとの共通点や相違点等を他者に分かりやすく表現できる。	自分の考えをまとめ、適切に表現できる。	自分の考えをまとめられる。	自分の考えをまとめようとしている。	「思考力・判断力・表現力など」
	主体性	変化を起こすために自分で目標を設定し、責任を持って行動し、振り返り、次の行動に繋げている。	変化を起こすために自分で目標を設定し、責任を持って行動している。	変化を起こすために自分で目標を設定し、行動している。	変化を起こすために自分で目標を設定し、行動しようとしている。	学びに向かう力、人間性
	想像力	経験や常識とつなげながら、筋道立てて予想ができた結論を導き出したりすることができる。	筋道立てて予想ができた結論を導き出したりすることができる。	知識や経験をもとに見通しをもつことができる。	勤や当て推量を越えようとしている。	「知識及び技能」
敬愛	協働性(対話力)	自分の役割や責任を理解し、他者との協働や交流を通じて、リーダーシップやメンバーシップを発揮しながら行動できる。	自分の役割や責任を理解し、他者と協働的に行動できる。	自分の役割や責任を理解し、行動できる。	自分の役割や責任を理解しようとしている。	「思考力・判断力・表現力など」
	社会性(エンパワーマインド思考)	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会を理解し、行動することができる。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会について、理解している。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいることを理解している。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいることを理解しようとしている。	学びに向かう力、人間性
	自律的活動力	心身を安定させ、自分自身を律するとともに他者の尊厳を尊重した行動ができる。	心身を安定させ、自分自身を律するとともに他者の尊厳について理解している。	心身を安定させ、自分自身を律している。	心身を安定させようとしている。	「知識及び技能」
努力	自己効力感	自分の意見や行動が周囲に貢献したという実感を持ち、自信を持って取り組める。	自分の意見や行動に自信と根拠を持って取り組める。	自分に自信を持っている。	自分に自信を持つようとしている。	「思考力・判断力・表現力など」
	実行力・継続力	自分の定めた目標の実現に向けて、継続的に行動している。	自分の定めた目標の実現に向けて努力し、行動している。	自分の定めた目標の実現に向けて、努力している。	自分の定めた目標の実現に向けて、努力しようとしている。	学びに向かう力、人間性

令和5年度 時間外在校等時間

1 教育職の時間外在校等平均時間



2 教育職の月別時間外在校等時間度数分布



3 教頭の時間外在校等平均時間

